

スミス・カレッジにおける学生支援の取り組み —オートニッキー氏とショー氏へのインタビューから—

Efforts to Support Students at Smith College:
Through an interview with Ms. Ohotnicky and Ms. Shaw

ジュリアン・オートニッキー*, ベッキー・ショー**, 西尾亜希子***, 安東由則****

OHOTNICKY, Julianne, SHAW, Becky, NISHIO, Akiko & ANDO, Yoshinori

安東 由則 監訳・編集

ANDO, Yoshinori (Trans. Supervisor & Ed.)

目次

1. 自己紹介と学生支援の仕事内容
2. ハウス（House）における生活の準備とルール
3. 学生の健康管理
4. トランスジェンダー学生のサポート
5. ハウス・システムの利点
6. トランスジェンダーを取り巻く状況の変化
7. 貧困な状況にいる学生への支援

* Dean of Students, Smith College（スミス大学・学生部部長）

** Associate Dean of Students and Director of Residence Life, Smith College
（スミス大学・学生部副部長／住生活担当責任者）

*** 武庫川女子大学共通教育部・准教授、教育研究所・研究員

**** 武庫川女子大学文学部・教授、教育研究所・研究員

スミス・カレッジにおける学生支援の取り組み — オートニッキー氏とショー氏へのインタビューから —

日時：2017 年 11 月 10 日（金）、10:00 ～ 11:30

場所：Clark Hall, Smith College, MA, U.S.A.

Interviewee：Ms. Julianne Ohotnicky (Dean of Students, Smith College)

ジュリアン・オートニッキー（スミス大学・学生部部长）

Ms. Becky Shaw (Associate Dean of Students and Director of Residence Life, Smith College)

ベッキー・ショー（スミス大学・学生部副部长 / 住生活担当責任者）

Interviewer：安東由則、西尾亜希子（共に教育研究所研究員）以下、“質問者”と記載¹

1. 自己紹介と学生支援の仕事内容

Julianne Ohotnicky（以下、Ohotnicky） 私たちが何者かを知って頂くためにまず自己紹介をして、それから話しましょう。

私は、カレッジの副学部長（the Associate Dean of the College）で、学生部長（the Dean of Students）の Julianne Ohotnicky（ジュリアン・オートニッキー）です。学生課は、大学で最も大きな部署であり、50 人くらいの職員がいます。学生課にはレジデンス・ライフ（Residence Life）や宗教的・精神的生活（Religious & Spiritual Life）などとともに、新入生に対するオリエンテーションや入学後のこの一員となることを手助けする初年次教育（the First-Year Experience）も行っています。また、アダ・コムストック・スカラーズ（Ada Comstock Scholars）²とも密接に連絡を取り合って取り組んでいます。このプログラムの対象となるのは、伝統的ではない年配の学生たち、つまり再び大学に戻ってきた年配の学生たちや、他の学校に入学した後、ここに転入してきた学生たち³のことです。

¹ 今回のインタビュー実施者は西尾と安東の二人であるが、インタビュー項目などは共同して作成した。さらには読みやすさも考慮して、質問者に関しては二人を区別せず、“質問者”と統一して示す。

² スミス大学が設けている奨学制度で、一般的な大学入学年齢の 18 歳ではなく、年長の非伝統的な入学学生向けのプログラムである。学士コースを修了できるよう、選択を柔軟にしたり、コースの負担を軽減したり、学習の助言やキャリアカウンセリングを行うなどしてサポートをしている。30 名の枠に 150 名の応募者があった。

〈<https://www.smith.edu/admission-aid/how-apply/ada-comstock-scholars>〉（2019 年 2 月 9 日）

³ 他大学からスミスへのトランスファー（transfer）の学生の受け入れ数は少ない。Barron's Profiles of American Colleges 2019 に掲載されたスミス大学の情報では、2016-2017 年におけるトランスファー学生は 45 名とある（756 頁）。

学生の活動は、クラブや諸団体、学生自治組織、医療サービス、カウンセリングサービス、健康教育、リーダーシップなどあらゆることに及びます。有色の学生たち (students of color) のサポートをする多文化共生の部署や他国から留学から来た学生をサポートする留学生課とも密接に関わり合い、一緒に取り組んでいます。

ジェンダーについても質問をいただいています、学生たちが理解し、話し合えるよう、私たち教職員がどのように手助けしているのかについてお話しすることができます。お見せしている書類は、10 年少し前、2005 年ごろだと思いますが、リソースセンター (Resource Center⁴) がオープンした頃のもので、その時、スミスではたいへん実り豊かな話し合いが行われ、今ではその成果は私たちの大学の文化の一部となっています。

Becky Shaw (以下、Shaw) 私はレジデンス・ライフ部署のディレクターで、スミスでハウス・システム⁵の統括をしています。おわかりと思いますが、私たちの大学はレジデンシャル・カレッジ (Residential College) ですので、学生たちはすべてキャンパスで生活することになっています。しかし、毎年 100 名くらいの学生には、大学のハウス以外に住むことを許可していますが、その他のおよそ 2,300 名はキャンパスのハウスで暮らしています。

スミスでは、寄宿舎や学生寮 (Dormitories and Residence Halls) の代わりに、39 のハウスなどの施設を提供しており、一番小さいハウスは 15 名、一番大きなハウスでは 102 名が住んでいます。学生が住めるアパートメントも所有しており、80 部屋 (spaces) が一般の学生用で、子どもがいるかもしれないアダ・コムストック・スカラズ⁶の学生に 10 部屋を用意しています。

レジデンス・ライフ部署のスタッフと一緒に働いており、学生のリーダーシップやハウスの中で起こるあらゆることを指導・監督するのに加えて、私は Student Conduct Board (学生行動委員会) のアドバイザーでもあります。この組織は、もしある学生が行動綱領に違反した場合、その学生は委員会のメンバーである仲間の前で自分が何をしたのかを話し、その委員会は、学生に責任があるかないか、ま

⁴センターの正式名は Resource Center for Sexuality & Gender。受け取った書類 “GLBTQ RESOURCES” には 2009 年 10 月の日付があり、そこには 40 の組織、ネットワーク、コミュニティやその HP などが掲載されている。

現在の同センター HP には、Financial Assistance の他、LGBT に関する情報を提供する様々な組織の HP とその内容が紹介されている (LGBT の地域コミュニティや同窓生の集い、サポートグループ、カウンセラーなどの情報)。以下のアドレス参照。〈<https://www.smith.edu/student-life/resource-center-for-sexuality-and-gender>〉

⁵スミス大学では、大きな学寮に多数の学生を住まわせるのではなく、House と呼ばれる小規模な学生用住居がキャンパス内に数多くあり、ほとんどの学生はそこで 4 年間生活をするシステムを取っている。大学やハウスに壁はなく、コミュニティの中に溶け込んで共に生活を作り上げるように計画して作られた。

⁶脚注 2 を参照のこと。

た制裁措置を講じるかどうかを決定します。スミスは学生の“自治”の上に成り立っているのです、学生たちはハウスの運営に積極的に参加し、様々な事柄がどうなっているのかについて深く関わっています。

2. ハウス（House）における生活の準備とルール

Ohotnicky その通りです。私たちの「行動綱領」⁷をお見せしましょう。責任をもつべきルールや、どんなルールに従う必要があるか、といったことが書かれています。スミスの学生たちはそれを理解しており、例えばルールのいくつかがもう少し緩やかであって欲しいと思っていたとしても、ルールがあることに感謝していると思いますよ。部屋でアルコールを飲みたいときに飲んで、部屋でタバコを吸いたいのかもしれませんが、私たちはそれを望みません。

質問者 学生らは、自由にそうしたことができないのですか？

Ohotnicky できません。アルコールに関して言えば、21才以上でない限りだめです。ほとんどの学生は21才未満です。

もう一つお渡ししているのは、これから大学に入学してくる新入生全員に送る冊子（*Making the Most of Smith: Your Transition to College*）で、カレッジへの入学に際してどのような準備を必要とするかが書かれています。キャンパスでどう生活するか、何を持ってくるべきか、またアカデミック・プログラムがどうなっているか、授業はどう選ぶようになっているか、といった情報が掲載されています。10月にはファミリー・ウィークエンド（Family Weekend）という行事があります。家族をキャンパスに招待してイベントを催し、“スミスの学生である”ということがどのような意味をもつのかをご家族に理解していただく行事で、私たちはその手伝いをします。

他に二つのプログラムサンプルをお渡ししました。一つは、私たちが提供したリーダーシップ・ワークショップのサンプル（*WURTELE CENTER FOR LEADERSHIP FALL 2017: LEADERSHIP WORKSHOPS*）です。学術的なことに焦点を当てながら、キャンパスがとても活気にあふれていることをアピールしています。もう一つウェルネス・カレンダーのプログラムもお渡ししましたね。運動すること、よく食べ、眠ることなど、学生がベストの状態でいられるよう、基本的な人間的ニーズを学生たちに意識させようとしているのです。学生たちは、アカデミック・プログラムが厳しいために行わなければならないことがたくさんあり、どんなに不安でストレスを

⁷ *Handbook in Brief 2017-18* というタイトルの薄い冊子の 1-2 頁には“Code of Student Conduct”として以下のような事項が挙げられている。Alcohol-Unsafe or Illegal Usage, College Policies Violations, Conduct that Threatens or Endangers a Person, Discriminatory Harassment, Dishonesty, Disruption, Five College Policy and Off-Campus Behavior Violations, Failure to Comply, Firearms and Other Weapons, Hazing, Illegal Drugs, Theft or Abuse of Property, and Unauthorized Entry or Use.

抱えているかを話してくれます。私たちは学生が元気であること、自分で自分の身体をケアする方法を身につけることに真剣に取り組んでいます。

3. 学生の健康管理

・ウェルネスセンターの役割

質問者 昨日、素晴らしいトレーニング施設やダンススタジオや運動器具などが整えられているのを見せてもらいましたが、そのような理由があるのですね。学生たちは勉強にとっても不安があり、宿題で緊張しているので、学生は日頃から健康に注意する必要があるということですね。

Shaw はい、とても贅沢な施設があります。過去 15 年間に、アメリカ中の大学は、アスリートではない学生でも使えるような健康用施設を建ててウェルネスをとっても強調してきました。今では受験生が大学を見る際に、入学したらどんな施設を利用できるのかといったことが期待されるようになってきているようです。

質問者 15 年以上前と比べて、学生たちはもっと健康になったと思いますか？

Shaw いいえ。彼らにはもっとストレスが増えたと思います。

質問者 ストレスが強いので、健康の手助けにあのような施設が必要ということですか？

Ohotnicky はい。すべての学生が施設を使うわけではありませんが、一般的にアメリカでは、健康であることにとても関心があります。そこにフォーカスしている人たちもいますが、もちろんそうではない人たちもいます。そのことが自分にとって大事なことかどうかは、これまでどうやって生きてきたか、どんな文化の中にいたかによります。しかし、私のこれまでのキャリアを通して言えることですが、スミスの学生アスリートたちは、常に他の学生よりも健全で、健康です。なぜなら、いつも運動という手段があり、チームがあり、その人間関係があり、一緒に食事をし、学生としての全体的な経験に互いが責任を持っているからです。アスリートたちはそれらを同時に行っているのです、いつもストレスがより少なく、よりハッピーで、より他者と繋がっている状態にあると言えます。身体を動かす生活習慣をもった文化は強いものだと思います。

私たちは学生たちのためだと思い、身体を動かし、身体にいい食べ物を取り、よく睡眠をとるように言うのですが、18 歳から 22 歳の人たちは、人の言うことを聞きたくありませんからね。

・サポート・アニマルの登場

Shaw 障害者用設備が必要でない限り、ほとんどの学生がシェアをします。幾人かの学生たちは、キャンパスにやって来る前に、個室のバスルームが必要か、ADHD や不

安神経症、鬱病等の理由があり、介助動物あるいはサポート・アニマルを連れて来るので、自分だけのスペースが必要かということを知らせてきます。現在、たくさんの動物がおり、私たちにとっては大きな変化です。

質問者 ペットとしてではないのですか？

Shaw サポート・アニマルというものがあるのです。“もし家から自分の猫を連れてくれば、気持ちが落ち着く”といった感じです。個々の不安神経症には役に立つのです。たくさんの種類の動物がおり、しかも数が増えています。

質問者 どのような動物がいるのでしょうか。例えば、犬などですか？

Ohotnicky 犬、猫、うさぎ、モルモットや蛇までレジデンスホールに住んでいるんです。

Shaw 犬でない限り、学生たちの部屋でしか飼えません。犬は散歩に連れ出さないといけないですからね。しかし、一緒に授業に連れて行くことはできません。学生の中にはアレルギーがあったり、犬がこわかったりする学生もいますから。サポート・アニマルを飼いたい学生たちは、自分の部屋をもらい一緒に住むことはできますが、ハウスの周りを歩かせることはできないことになっています。3年で、0から40へと急速に増えています。

質問者 世話が大変ですが、そういう動物たちは学生たちの精神的健康のサポートとなっているのですね。例えばアレルギーの問題を考えなければいけないとしても。

Ohotnicky はい、少々不安になりますが。

質問者 獣医はキャンパスにいるのですか？

Shaw いいえ、おりません。でも私たちは、学生らが動物を連れて来る前に、地域の獣医と計画を立てるように要求します。帰省しなければならぬときに備えて、誰がその動物の面倒を見るかなど緊急時の計画がなければなりませんし、休暇になったら、同じ設備を持たない他の学生に頼んで世話をしてもらうことはできないので、誰が世話をするのかを決める必要があります。

今年の夏、ポリシー作成や対話による調整に多くの時間を費やしましたが、私たちも行いながら学びつつあります。ジュリーが言ったように、過去3年間で、アメリカ中のすべてのカレッジでこういうことになったのです。年に二回、サポート・アニマルの申請ができます。

Ohotnicky そのようになったのは、政府の法律によるものです⁸。

Shaw 連邦の公正住宅法 (the Fair Housing Act) により、障害者で動物がその人の介助

⁸盲導犬など、訓練を受けて人間の生活や仕事を手助けすることができる Service Animal とは異なり、その存在が障害を抱えた個々人に精神的な安らぎをもたらす動物は Emotional Support Animal (ESA) と定義される。“Comfort Animals,”あるいは“Companion Animals”などと呼ばれることもある。連邦の the Fair Housing Act、マサチューセッツ州の the State Fair Housing Law など規定されている。
(<https://www.mass.gov/service-details/about-service-and-assistance-animals>)

をする場合には、住宅の持ち主、つまりこのカレッジは、その人が動物を必要とするからといって差別をすることはできないのです。

質問者 例えば、典型的な例は盲目の人たちや聴覚障害者に対する介助犬などですか。

Ohotnicky それもあります。介助動物は、キャンパスのどこにでも、授業にも、キャンパスセンターにも、食堂にも、どこへでも行けます。精神的なサポート動物の場合、犬を歩かせる以外は部屋の中にずっといることになります。

精神的なサポート・アニマルについては、法律の理解がここ5年で変わったと言っているでしょう。私たちはこれまで行っていませんでした。“そうした法律がある”という認識から、“それをしなければならない”ということに今はなっています。その意味することを国が同じように理解していたとは思いませんが、今では政府が、はっきりさせよう、これは実行しなければいけないことなのだとやっているのです。

Shaw 動物は一匹だけと学生に言うために、いくつかの制限（parameter）を設定することはできます。学生たちは、何年もネズミを飼いたいと要求していて、“ネズミはもっと多くのネズミとコミュニティで生活しなければならない”などと主張しますので、私たちは“ネズミは飼えるけれど、一匹だけ”と言っています。ネズミにコミュニティが必要などといったことは、私たちが関知することではありません。一匹だけは飼えるのです。

4. トランスジェンダー学生のサポート

Ohotnicky お示しいただいた質問の中で、女子大学におけるジェンダーとそれがどう変わったかについて忘れずにお話しをしたいと思います。Becky（Shaw）と私は、2005年から2006年の同じ頃、スミスに着任しました。スミスでは、私たちが来る前に、女子大学におけるジェンダーについてたくさんの議論が行われていましたし、今でも時々これに関する議論を学生たちと行っています。私たちは女子学生を入学させ、学位に必要な単位を修得した者は誰でも卒業させています。学生が希望すればどんな名前でも卒業証書に書き入れます。卒業式で、呼んでもらいたい名前が何であれ、希望する者がいればその名前でアナウンスするのです。

今では、男性としてのアイデンティティをもった学生がいるかもしれませんが、その母親や祖母が卒業式にいたら、生まれたときの名前で呼ばれることを選択するかもしれません。例えその名前が、私たちが知っているものとは異なってもです。私たちは、彼（He）あるいは彼らという呼称で呼び、彼らに渡す書類が男性のアイデンティティで書かれているということは、大変に重要なことだと認識しています。これは複雑な問題で、連邦政府もスミスの学生が現在到達しているところまではまだ追いついていません。政府に、人の性別を変えさせるのは本当にたいへんです。私たち

は、学生たちがどうやってそれを行うのか、何が必要か、また大学ではどうやって変えることができるかについて情報を与え、それを理解する手助けをしようとしています。お渡しした資料⁹は、あるウェブサイトを参照させようとするもので、私たちが何を学生たちと共有するかについての情報が少しですが掲載してあります。スミス大学のウェブサイトからそのサイトに飛ぶと、もっと詳しいリソースが提供されます。男性としてのアイデンティティを持つ学生たちの間でとてもよく見られているサイトです。問題の一つは、彼/女らの家族が、そのような子どもとは、もう何の関係も持ちたくないと言って、学費の支払いも止めてしまうということです。

質問者 そのようなこともあるのですか？

Ohotnicky はい、あります。ここは、彼/女らが安心して居ることができると感じられる一番安全なコミュニティなのです。私は、少なくとも一年に一回は彼/女らと膝を突き合わせて話し合い、もし家族が援助をしてくれないなら、奨学金を得るために他のどのようなリソースがあるかをよく考えておくよう助言し、手助けしています。本当にたいへんです。

18 歳から 20 歳、25 歳というのは、大人としての自分が誰であるのかを、真剣に探っている時期で、大人として初めての決定を下そうとして、自分の家族の信念にも抵抗することがあります。スミス大学はそれを温かく、真摯に見守るコミュニティであり、自分が自分のままでいられるようにさせてくれる場所です。スミス大学の教授陣とスタッフは、正しい名前の理解と使用、正しい性別の代名詞の使用について、たくさんのやるべきことがあると思います。Becky (Shaw)、レジデンシャルの観点から経験を話してください。

・呼称について

Shaw もし Julie (= Julianne Ohotnicky) や私が学生と一緒にいたとすると、教職員であれ学生であれ、次のように自己紹介をします。

“ハイ、私は Becky です。私は、she、her の代名詞を使います。”これが、自己紹介をするときの行動様式の一部で、自分がどんな代名詞を使ってもらいたいかを他者に知らせるのです。それが文化の一部のようになってきており、過去 4 年間に私が見てきた変化です。それはすごくいいことだと思っています。なぜなら、その人が他者にどう呼ばれたいかを想像して代名詞を使うよりも、(そのように紹介することで) その人がどう自分を認識されたいのかを他者は知ることができるからです。外見や服装を見るだけでは、彼女らがどんなふうに生きているのかを推測することはでき

⁹脚注 4 の GLBTQ RESOURCES を参照。

ません。ですから、そうした機会があるということはとても大事なことだと思います。私たちは真剣にそうした声に耳を傾けようと努めており、そこで得たことを実際に活用しようとしているのです。Julie が言ったように、教授陣やスタッフにとっては、時折、少しは困難なこともあったと思います。なぜなら、教室で学生たちが、自分の好む代名詞について聞かれるということは、普通のことだとは思いませんからね。

本当に、私たちはここまで長い道のりをたどって来たと思います。特にスミス大学に在籍するトランスジェンダーの学生たちは、もっとなんらかのリソースがキャンパスにあればと願っていると思います。なぜなら、時々私は感じるのですが、彼/女らは、自分たちにとって自明でないものとして物事を見、理解しなければならないからです¹⁰。大半のスミスの学生たちは、トランスジェンダーの学生たちにとってもオープンですが、中には、そうではない学生もいて、“もし女性として生まれなかったのなら、女性ではない”、というように感じる者もいます。時々、学生間で衝突が起こることもあり、私たちはそれを軽減するよう管理していかなければならないのです。

・仕事探しと卒後の居住

Ohotnicky もう一つの側面は、もしある学生が自分のことを Joseph という男性として認識しているなら、なぜ自分はスミス大学という女子大学に入ることを選ぶのかということですか。興味深い話です¹¹。

Shaw 最初に私がスミスに来たとき、私でさえも少し驚いたことは、(トランスジェンダーの) 彼/女らがここに馴染んでいないということではなく、むしろここがアメリカの他の地域よりもずっと進歩的で、すごく懐の広いコミュニティだということです。もし、あなた(男性となった者)がスミスの卒業生であり、一般の人々はスミスが女子大学であると知っているなかで仕事を探す場合、差別される恐れがあると思います。

質問者 その点についてお聞きしたかったのです。おっしゃる通り、男性としてのアイデンティティを持つけれど、それでもこのカレッジ(女子大学)を卒業した彼/女ら

¹⁰ トランスジェンダーである彼らの見方・捉え方と、そうではない周囲の者のものの見方・捉え方は必ずしも一致するものではなく、時には対立するものである。それ故、周囲にはなかなかトランスジェンダーの学生たちの見方・捉え方が理解されないということ。

¹¹ スミス大学の高橋温子先生が2017年10月に学生に授業課題として、トランスジェンダー学生の子女子大学への入学について意見を尋ねていただいた。7名の学生から回答があり、その内容は必ずしもトランスジェンダー学生の受け入れに賛成するものではなかった。「どうしてトランスジェンダーの学生たちは女子大だけに入りたがるのか分からない。…“体が女性、心は男性”という人を受け入れるのは個人的にダメだと思う」(文言一部改変)のように、男性を自認するトランスジェンダー学生には疑問の声が半分ほどあった。

は、スミス大学の卒業生として認識されます。スミスは女子大学ですが、彼らが男性として生活していくということは矛盾ですね。時に彼らは、労働市場において、差別を受けることもあるように聞いています。

Shaw その可能性はあると想像できます。私たちは、スミスのトランスジェンダー学生の何人かが仕事を見つけるのに苦労しているのを見てきました。彼らの大部分は、自分たちが差別を受けにくいだろうと認識しているキャリアを選んだり、あるいはアメリカの中で差別される可能性がより少ない寛容な地域、つまり西海岸の大都市、例えばサンフランシスコなどに引っ越したりしているように思います。

つまり、彼らはどこに行けば差別がより少ないかという基準により、キャリアと住む場所の両方を選択していると思います。彼らが性的な転換をしている間、大規模な州立大学にいるよりは、スミスにいた方がより安全だと感じるのでしょうか。

質問者 あなたたちが彼らへのカウンセリングを重視する理由はそういうことですね。彼らはとても不安を抱えています。例えば日本では、彼らは概して、一般の人たちよりもずっと自殺を考える傾向があります。

・学生間の相互理解と家族へのサポート

Shaw そうですね。こちらのトランスジェンダーの学生たちや、ゲイやレズビアン of 学生たちにも当てはまることです。特に、どのような家庭の出身か、家族環境がどのようなものであったのかによるところが大きいですね。今日でもそうです。秋に学生スタッフたちとワークショップを行うのですが、その際さまざまな社会的公正の問題を目のあたりにします。レズビアンのアイデンティティをもつのだけれども、それを公言すると家族に勘当されると感じて家族には知らせていない学生リーダーの数の多さに驚きました。

質問者 お二人や大学のカウンセラーが、トランスジェンダーの学生たちの親を説得するといったことはされますか？

Ohotnicky それはいたしません。私たちは、どうやって彼女たちが家族に告白するのか、また自分のアイデンティティについてどうまく家族との関係をもつかについて、学生たちと一緒に取り組むだけです。もし、家族が私たちに電話をかけてきて、“理解するのに助けが必要だ”とか、“サポートしてほしい”と言われれば、もちろん家族に話をしますが、そうしたことはあまり起こらないと思います。

私たちがより多くの時間をかけているのは、一緒に住んでいる二人の学生がいたとして、一人はトランスジェンダーかゲイ、レズビアン、あるいは何らかの性的マイノリティであり、その人が伝統主義的な人（Traditionalist）と住んでいた場合、その両者の関係づくりをいかに手助けするのか、いかにそのことを家族が理解できるように

援助するのかということです。正直に言うと、ほとんどの場合、学生は大丈夫なのですが、家族はどうすればいいのかがうまく理解できないのです。

Shaw 私もジュリーが今言ったことに賛成です。アイデンティティをベースにしたルームメイト間の衝突がいくつかあるという意味です。

他の人とどう違うかといった、あらゆる種類のアイデンティティです。このことは、いくつかのチャレンジ（試練）をもたらしてくれます。誰にも部屋を共有するルームメイトがいて、彼女らはお互いに膝を交えて話し合わなければなりません。この世代の人たちは、彼女らが学ぶべき貴重なスキルだと私たちが思っている“面と向かって話す”ことよりも、電子媒体を通じて話すことを好みます。ですから私たちは、彼女たちと私たちスタッフの一人とを一緒に座らせて、学生たちが会話をできるようにするのです。

ジュリーが言ったように、学生の大半はトランスジェンダーやLGBTの問題をめぐるルームメイトのアイデンティティに動じることはありませんが、家族にとっては苦しい経験です。とりわけ、トランスジェンダーの学生たちが、情緒面での健康において苦悩しているのを私は見てきました。彼/女らは、あまりにも現在進行形で生じている課題が多くあり、あまりにたくさんの恐れを抱いているので、時に、ルームメイトにとっては、相手のルームメイトが性的に転換しているという事実よりも、その人の精神的な健康状態の方が耐え難くつらいことになっていると私は思います。

質問者 大きな衝突があるときには、どのように対処するのですか？長期間同じ部屋にいるようにさせますか、それとも、彼女らを離したりするのですか？

Shaw 両方です。私たちのスタッフは社会的公正（social justice）のレンズを通して対立を仲裁するよう訓練を受けています。その人のアイデンティティのどの部分がこの対立を生み出しているのかについて考えます。なぜならそうした対立は、時にもう終わったような、何かささいなことのようにも見えますが、本当はその人のアイデンティティに関わることだからです。それから、彼女らを仲裁するよう手助けを行い、もし仲裁ができないとを感じるようなところまでくれば、誰が他所に移動するべきか、両方が移動すべきか、誰が別の種類のスペースを必要とするのかを見つけ出し、彼女らにとって最良の暮らしやすい環境を見つけ出すため、一緒に、あるいは個別に取り組みます。幸いなことに、私たちはたくさんの1人部屋を持っているのです。部屋の約70%が一人部屋なのです¹²。

¹² スミス大学では House System を取っており、35 棟の House とコンプレックス（複合施設）からなる。収容人数は 10 名から 100 名と建物によって異なるが、60-80 名収容の House が多いようである。稀に 3 人部屋も見られるが、ひとり部屋が多くなっている。a half open double のように、2 人部屋であるが、条件付きながら 1 人で住んでいる場合もある。スミスの学生生活はそれぞれの House が単位となっており、学生生活の重要な基盤となっている。一人部屋の平均で約 9' × 10' (feet)、二人部屋だと 12' × 14' くらいである。〈https://www.smith.edu/reslife/houses_faq.php〉

・多様性（宗教、家族背景、人種）と葛藤

Shaw ハウス内で時折生じる別の問題はムスリム（Muslim）のことです。ヒジャブ（hijab）を着用する学生は、ヒジャブを着用しないで他人、特に男性から見られてはいけないということです。男性のアイデンティティをもっている学生が、ヒジャブを着用するムスリムの学生と同じ階に住んでいる場合などですが、このような衝突はこれまでに一度だけしか起こっていません。

ヒジャブを着用する学生は、自分たちの宗教の慣習を守りたいので、大学において便宜を図ってもらう必要があると述べてきました。そのケースでは、宗教生活（Religious & Spiritual Life）オフィスのスタッフたちと一緒に取り組み、その学生に、バスルームに近いスペースを確保することができました。自分の部屋を出る場合は、バスルームにさっと行けるので、男性のアイデンティティをもつ学生とかち合わないよう走り回らないといけないと感じる必要もなくなります。恐らくもっと要求はあるのですが、個々別々によく観察するようにしています。ある学生たちは、宗教を遵守するやり方がとても厳格なように思われます。

質問者 彼女らは黒い服を着用しているのですか？

Shaw はい。ある学生たちはそれほど厳格ではなく、自分たちをムスリムと認識してもヒジャブは着用していないようです。それが、これまで衝突があまりなかった理由だと思います。

Ohotnicky ムスリムの学生たちは世界中からきています。アメリカのムスリムも多くいます。一番厳格なムスリムの一つはアメリカ、あるいは一番遵守しているのは、中東ですね。

Shaw パキスタンの学生、ネパールやソマリアからの学生もそうですね。とても戒律を遵守している一人はソマリアからの難民で、学生禁止行為委員会（Student non-conduct board）のメンバーです。

質問者 とても複雑でしょうね。

Shaw はい、そうですね。それが私たちのハウス・システムの面白いところの一つでもあります。なぜなら、宗教的慣習をもって世界中から集まってきた学生たちがいて、そこでもジェンダー問題があるわけです。最初のうち、大学の元留学生部長は留学生たちが初めてここに来たとき、LGBT 問題について話すのをためらっていました。多分、留学生たちには理解できないだろうと感じていたのです。しかし3年前、留学生たち自身が、特にジェンダーについて異なったアイデンティティをもち、またヘテロセクシャル（異性愛）ではない留学生たちのための学生組織を作ったことを、私たちは知ったのです。

質問者 学生たちが率先して取り組んだのですね。

Shaw はい。留学生たちの一部は、スミスがLGBTのアイデンティティをもつ人たちにとって安全な場所であることを知っており、そのため特にスミスを選んで来ているのです。彼らのうちの幾人かは、家族から勘当されたか自分の国に帰省することが安全ではないと知っているため、帰省できていません。

質問者 トランスジェンダーの理解度は、宗教によるものなのか、あるいは社会的背景によるのでしょうか？一番影響力のあるものはなんでしょう？

Shaw 社会経済的なものではないと思います。宗教はとても少ないですが、一部に最も保守的な学生がいて、時としてトランスジェンダーの学生のことを理解できません。保守的なアイデンティティをもつ学生にとっては、スミスは時に、自分にとってちょっと大変なところだと感じられるのではないかと思います。私たちは常に、誰であろうとすべての学生たちを支援するのが私たちの仕事だと話しています。

質問者 LGBTあるいはジェンダー・アイデンティティの多様性について、学生が理解できるようなワークショップやセッションを大学が行っていますか？

Ohotnicky 学生たちの入学時に、オリエンテーションで行っています。多様性あるコミュニティでの生活であり、このことはスミスにおいてはとても重要な価値なのです。スミスの学生のうち、15%が留学生で、35%が非白人ですから、スミスの全学生の半分は留学生か非白人ということです。この割合はほとんど変わりませんから、学生たちの背景は前々から多様なのです。自分自身の出自とは異なる人たちとどう一緒に生活するかということは、非常に大切なことです。

Shaw こうしたトピックについて、私たちは本当に長い時間を費やします。ご存知の通り、アメリカにおいて人種というのはとてもホットなトピックですが、皆が同じように見ているわけではありません。この一年で、私たちが同意できかねるようなことを言う人が増えているのを見てきました。人々やそのアイデンティティを冒瀆したりすることが多くなっていることを私は確信しています。そんなことをする人を合衆国大統領に持ってしまったからだと言っています。

質問者 トランプが大統領になってから、とても保守的な学生たちはどんな様子ですか。

Ohotnicky 力を得たように感じられています。

・パイオニアバレーの伝統

Shaw この地域は、マサチューセッツ州のパイオニアバレーと呼ばれていると聞いています。留学生や有色人種の学生たちが（大統領選挙のあった）昨年、キャンパスの外で本当にいろいろな経験をしたことを知っています。学生たちにこの地域を安全だと感じて欲しいので、私たちは地元警察や学生らと協力して取り組みました。これは私たちにとって非常に重要なことなのです。

Ohotnicky 私がとても大事だと思うことに触れてくれましたね。もし私たちが耳を傾けるならば、スミスの学生は、自分たちのために取り組む必要があることを話してくれます。2003 年まで遡って考えると、学生自治会は学生憲章にあるすべての she と her の代名詞を students に変えました。彼女らは、私たちがジェンダーやジェンダー・アイデンティティについて考える必要があること、それが流動的で、誰もが女性としてのアイデンティティをもつわけではないことを熱心に私たちに話してきました。私たちが着任する前にスミス大学が初めて行ったことの一つだと思うのですが、それはジェンダーに中立なバスルーム（トイレ）を作ることでした。

学生たちが何を求めているかについて対応したいなら、建物が男性用や女性用ではなく、誰でも使いたい人たちのためのバスルームを備えることを確実にする、本当に良い最初のステップです。

Shaw ロッカールームもそうです。気づかない人もいるのですが、そこに問題意識をもっている人は気づくもので、その人たちにとってはとても意味のあるものとなります。彼/女らはどのバスルームに入るか、選択しなければならないと思うからです。ひどいことです。毎日何度も何度も、その都度、選択しなければならないなどと想像ができますか？

質問者 そういうバスルームをこのキャンパスで見つけることができますか？

Shaw キャンパスセンター¹³にあります。お見せしましょうか？

< Campus Center を見学した後、The Resource Center for Sexuality & Gender へ移動 >

Shaw さて、これがジェンダー不適應の学生用の住宅（Wesley 棟の地下）¹⁴です。必ずしも性転換して男性としてのアイデンティティをもつ人たちのみのスペースではありません。まだ自分自身のことがよく分からない、あるいは男性・女性のどちらでもないとして認識する学生たちもいます。

自分をただ自分として認識しているのです。なぜなら、男女の性別に強いつながりを感じていないからです。どういう自分を表現するか、見せるか、どのような装いをするか、あるいは自分がそれをどう感じるのか、といったこと全てが複雑に絡んでいるのです。

¹³ キャンパスセンターは、キャンパスの中央部に位置し、食堂や売店、学生の談話室などがある大きな施設である。その地下 1 階にジェンダー不適應学生のためのバスルームがある。The Resource Center for Sexuality & Gender が入っている Wesley（建物名）棟の地下などにも設置されている。

¹⁴ この棟の地下が The Resource Center for Sexuality & Gender で、学生が寛げる場となっている。各種のチラシがあり、その中の一つは“The Resource Center invites the Smith Community to join the LGBT & Support Network”とのタイトルで、being an Ally to LGBT people となることを勧めている。LGBT の人々とルームメイトになったり、代弁したり（advocate）して、彼らをサポートし、暮らしやすいキャンパスづくりをしようとする学生を募集している。

Ohotnicky なぜ彼 / 女らがそんなに大きなストレスを抱えているのかがお分かりいただけます。彼 / 女らは自分のジェンダーや性的指向 (orientation) が分からないのです。



写真1 Campus Center 地下トイレの扉
(扉には "COED RESTROOM" の掲示)



写真2 the Resource Center for Sexuality & Gender の内部
(くつろげるよう、照明を下げています)

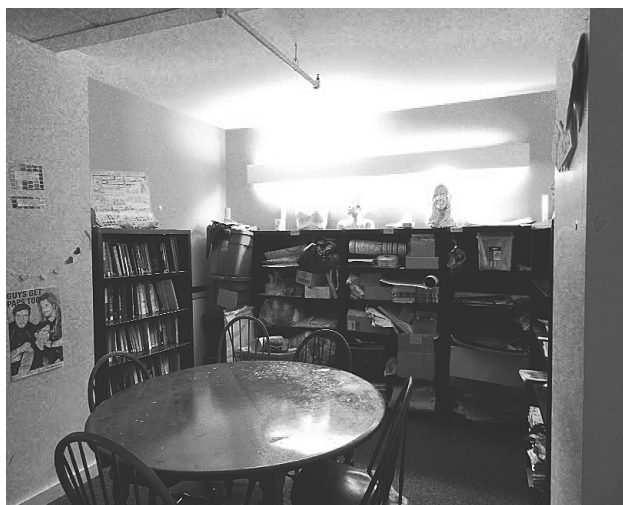


写真3 the Resource Center for Sexuality & Gender の内部



写真4 Center 内の一室の扉
“Paps Matter for Trans Men”
(子宮がん検査は男性転換者にも大切)

5. ハウス・システムの利点

質問者 他の質問をしてもいいでしょうか。スミス大学はハウス・システムを採っており、ほとんどの学生はハウスに住み、卒業までの学生生活の大半をハウスやレジデンスホールで過ごすわけですが、こうした制度の利点は何でしょう？

また、スミス大学は、ソロリティ（Sorority）¹⁵の結成を許可していませんが、なぜスミスはソロリティを作らず、全学生がハウスに住むことに重きを置いているのでしょうか？

Shaw キャンパスに住んでいる学生たちにとっての利点は、学生である間に、教室外で起こること、例えばそれは世界で起こっている政治的なことについての議論であったり、人々が抱えている対立・葛藤についての議論であったり、非常にたくさんの学びがあることだと私は信じています。私たちは、これまで経験したことがなかった、とてもグローバルな世界に生きています。自分とは異なる人たちと一緒にいて、お互いから学び合うことができるようになるのは大切なことです。その一方で、対立が生じたとき、それを前向きで建設的な方法でどうやって解決するのかを見出すことができるようになることもまた大切なことです。こうした学びは、一生を通して使っていくべき大切なスキルだからです。

¹⁵Sorority とは、一般にアメリカの大学における女子学生の組織で、社交や奉仕などの目的で作られ、組織として行動をとる。場合によっては一つの学寮を単位とすることもある。特定のしきたりや秘密の共有などを通して、仲間の結束が図られ、排他的になる傾向も指摘される。Sorority が女性だけであるのに対し、Fraternity は男性のみ、あるいは男女混合の組織である。

ソロリティは私たちの大学にありませんが、私たちのハウスは少しソロリティのような感じがあるとも言えるかもしれません。違いは、私たち（大学側）が学生を割り当てるといことです。お金を支払うことで特定のハウスに入ったり、支払わないことで追い出されるということはありません¹⁶。

Ohotnicky ソロリティについて言うと、アメリカのソロリティは排他的で、“あなたはいいけど、あなたはダメ”というものもあるのです。スミスのクラブや組織はすべて、どの学生にも開かれていなければなりません。ですから、誰がそこに属するかを選び好みすることはできないのです。これが、なぜスミスがソロリティをもたないのかとの問いに対する主な理由です。特にアフリカン・アメリカンのコミュニティやラティナ（Latina）のコミュニティ、ヒスパニックのコミュニティでは、大学のソロリティというのは、全国的に大変目立つものです。私たちは学生たちに対して、もしアフリカン・アメリカンのソロリティあるいはラテン系の人々のソロリティに興味があるのなら、地方のチャプター、つまりキャンパス外のものに入会するよう勧めています。そうすれば繋がることができます。しかし、キャンパスでは存在しません。University of Massachusetts Amherst¹⁷か、（隣街の）スプリングフィールド（Springfield City）には地域のソロリティもあります。

Shaw ソロリティ・ハウスのような宿舎は規模が小さく、人々はお互いに知っています。気遣いの感覚、共有された価値や伝統あり、大きい兄弟姉妹（Big Sib）や小さい兄弟姉妹（Little Sib）のような関係性を含め、私たちはハウスがその役割を果たしていると考えます。以前は、姉一妹の関係でしたが、それを学生たちが変えていったのです。皆が女性のアイデンティティをもつ訳ではないと気付いたからです。ですから、年長の兄姉、年少の弟妹がいるのです。

Ohotnicky その通りです。Sib というのは、姉妹ではなく兄弟姉妹ですね。

質問者 もう一つ別の質問があります。ビジネスに携わる人は、寮やハウスでの生活経験がある学生に価値を見出す（重視する）のでしょうか？この点について、どのように思われますか？

Shaw はい、そう思います。二点についてお話ししましょう。スミスには、私たちの他に、ハウスを担当する学生リーダーがたくさんいます。私たちはそこ（ハウス）には住んでいませんが、彼/女らをサポートし、監督を行っています。それは離れたとこ

¹⁶Ms. Shaw は、次のような実話を語ってくれた。“ある方の孫娘が、欲しい部屋がもらえなかったので、何百万ドルも大学に寄付して、電話をかけてきて言いました。‘彼女の部屋を替えるくれますか？’私は言いました、‘ダメです。’私たちは全ての学生を同じように扱うので、そのようなことを私は意に介しません。”

¹⁷マサチューセッツ州立大学の旗艦校の一つであり、スミスやマウントホリヨーク、アマースト、ハンブシャーとともに The Five College Consortium を組織している。唯一の州立大学で、総合研究大学。学生数 30,593 人（Fall, 2018）〈<https://www.umass.edu/gateway/about/umass-glance>〉

ろから行っているのです。ハウスの長を含む学生リーダーが、そのハウスではとても重要です。ハウスでは、宿舍会議に参加する一年目の代表から始まって、リーダーシップを伸ばしていける機会がたくさんあると思います。それが、彼/女らが重視されていると考える理由の一つです。

もう一つは、ルームメイトと一緒に住み、バスルームを共有しながら、自分が学んだことについて、友達に話せることだと考えます。これらはすべて、交渉、対立調整など、今の学生たちができなくなっている直接のコミュニケーションは、ビジネスにおいて学ぶことになる重要なスキルです。(ハウスという)コミュニティに住んでいるとき、このようなスキルを使わないで過ごすことはできません。

質問者 なるほどそうですね。その人たちが自分とは全く違っていても、そうした人たちから離れてしまうことはできないですからね。

Ohotnicky その通りです、他者に話しかけないといけません。彼/女らとは次のようなこと話しています。キッチンの出入り口で誰かのそばを通るときに、“こんにちは”と言ったり、またリビングルームでビデオを見たり宿題をしている誰かのそばを歩いて通ったら、“ああ、こんにちは、元気？”と言ったり、“あなたが宿題している間、テレビを見ていい？”と聞くなど、それらは交渉しなければならないことです。

Shaw アメリカの文化において、子どもは兄弟姉妹と部屋を共有して大きくなります。今日では、多くの学生がスミスに入学するまでに、一度も部屋を共有したことがなかったり、おそらくバスルームを共有したことがなかったりするのですが、これらのすべてが大切なことです。ビジネスのため、またはこれから入っていくどんなキャリアのためにも学ぶ必要がある大事なことだと考えます。

Ohotnicky 私は、自分の部屋をもっていた息子を大学に送り出しましたが、今では彼は自分の部屋がなくなっていました。面白いことに、大学での最初の3週間は、誰か他の人が自分の部屋と一緒にいて、“寝られない、寝られない”という感じでした。家では大きなベッドがありましたが、大学の寮では小さくて狭いベッドしかありませんから、それに慣れる必要があったのです。ルームメイトが彼の隣でいびきをかいて寝ていると文句を言っていました。私は“大丈夫よ。これを体験する必要がありますよ”と言いました。大事な経験です。

質問者 スミスに入学した学生が、Smithies¹⁸（スミス生）へとどのようにして変わっていくのか、つまりどこからどのような影響を受け、“Smithies”という性格が形成され

¹⁸Smithie, Smithies はスミス大学の在学学生、あるいはその卒業生を指す言葉であり、様々な意味を含めて、プライドをもって使用される。同窓生と大学、同窓生同士をつなぐ言葉ともなっている。なお、『研究レポート』48号、29頁において単数形を Smithy と記述しているが、正しくは Smithie である。お詫びして訂正する。

るのだと思いますか？なぜ、キャンパスのハウスでの生活が、今話したように、彼女らの将来へ良い準備を与え、成長を促すために大きな意味を持つのだと思いますか？

Shaw それはいい質問です。学生たちに聞いてみるべきですね。

このキャンパスに住んでいる学生たちは、ここが彼女らの居場所・生活の場です。他とは対照的に、ここで生活し、クラスに来て授業を受け、クラブ活動や組織活動をして、またハウスに帰る。そうやって彼女らのアイデンティティとしての Smithies を形成していくということになります。

Ohotnicky キャンパスのすべての部分がそれを形成するのです。15 人の学生たちが大学で一番難しい有機化学のクラスを取るときには、スミス生としてお互いにつながっています。例えばノースロップハウスに割り当てられて、ノースロップハウスのすべての新入生がリビングルームに座り、年上の学生たちが新入生に“お帰りなさい”と声を掛けるとき、彼女たちはみな Smithies になるのです。PVTA のバスや市バスに乗って友達グループと一緒にモールまで行き、コミュニティの人々が彼女たちをスミス生だと認識するとき、彼女たちは Smithies になります。ダウンタウンを歩くとき、彼女たちは大学生であり、間違いなく Smithies なのです。住んで、食事をして、授業に行って、ハウスで友達と交流すること、これらのすべてが彼女たちを Smithies にするのだと思います。

Shaw スミスには、昔から変わらず続くユニークな伝統があります。秋に大学が休みになるマウンテン・デイ¹⁹はその一つですし、スミスの卒業生ネットワークはとても強力なので、スミスのシャツかジャケットを来て国内のどこかに行くと、誰かが近づいて来て、スミスに行っていたのかと尋ねてきます。同窓生の結びつきは非常に強いのです。

Ohotnicky どのハウスに住んでいたかについては、必ず聞いてくるようね。

Shaw どこに行っても、何をしていても、スミス生としてのプライドを真に持っています。

昨夜私は、ハウスで学生たちと彼女らが望むハウスの改築について話しました。彼女らは昨年春、暖炉に一羽の鳥が下りてきたときのこと、どうやってその鳥を助けて外に出して、その後皆がまた寝たのかを笑いながら話し始めました。彼女らが飼っているサポート・アニマルではなく、暖炉に降りて来たただの鳥でした。私は彼女らにこう言いました。“ねえ、20 年後に同窓会に参加するために戻って来たとき、誰かがこう言うでしょう。‘あの鳥がここに来て、みんなでこんな経験をしたけど、そ

¹⁹ マウンテン・デイ (Mountain Day) は、秋の天気の良いある日、予告なく学長が“Mountain Day”と宣言すると大学は休校となり、山登りに限らず、学生たちは天気の良い秋の一日を満喫するという伝統がある。Mount Holyoke College にも同様のものがある。

れは他の誰ともしたことのない経験で、ただあなたがここにいたからこそ一緒に経験したことね”と。

質問者 ああ、素晴らしいですね。

< Okhotniky 氏が所用のため退室。以下、Shaw 氏のみへのインタビュー >

6. トランスジェンダーを取り巻く状況の変化

Shaw マサチューセッツ州はとても進歩的な人々が多く、中でもここノースハンプトン (Northampton City) は、全てがということではありませんが、進歩的な傾向が強い街なのですが、(トランスジェンダーの人々にとって) やはりこれから大変だと思います。

質問者 トランスジェンダーでキャンパスに住んでいる学生たちも、一度このキャンパスを離れると、あなたと同じ思いをもつのでしょうか。

Shaw そうです、彼/女らは、自分たちがよく知っている場所を選んで移り住み、知っているキャリアを追い求めようとする理由がそこにあます。以前、トランスジェンダーとしてのアイデンティティをもちながら、レジデンス・ライフの学生リーダーである学生がいました。ここにいる間に性的な転換をしましたが、統計分析の学位を取り、性転換した男性 (trans man) として合衆国政府で働く仕事を得ました。今ではここに戻ってきて、フルタイムのファカルティメンバーとして採用されています。彼は、自分の勤務場所は居心地がよかったと話してくれました。

ところで、あなたの大学のアドミッションポリシーは何ですか。

質問者 女性のみです。日本では、すべての書類の女性の欄にチェックを入れないといけません。

Shaw こちらでも以前はそうで、差別的なものでした。ガイダンス・カウンセラーが学生を女性であると認め、その学生自身も自分は女性であると言ったときのみ受け入れられたのですから。

こんなことがありました。ある学生が、連邦の学資援助を出願してきました。学資援助の用紙に必要事項を記入し、男性か女性かをチェックしなければなりませんでした。(男性にチェックをして提出した) その書類を除いて、彼女の文書にはすべて女性と書いてありましたが、彼女は受理されなかったのです²⁰。

その後スミスはポリシーを見直して、変更しましたが、その前に、少なくとも私たちは一人のトランスジェンダーの学生がいることを認知していました。その学生は、

²⁰Calliope Wong の件だと思われる。

連邦の学資援助のフォームに記入する必要がなかったからです。入学したとき、その家族がお金を出す余裕があったので、この大学にすることができました。もしその学生が貧しければスミスには来られないので、学資援助のフォームに（性別を）記入しないといけません。私たちがどのように差別してしまっていたかということです。

質問者 スミス大学は、トランスジェンダーの男性にも奨学金を提供しますか？

Shaw 女性としてのアイデンティティを持って入学してくる人は誰でも、あらゆる奨学金をもらうことができます。もし、入学後に男性に転換したとしても、いずれの奨学金も失うことはありません。

質問者 失わないのですか。平等ですね。

Shaw はい、他のすべての人に行っていることと同等にしなければなりません。

質問者 奨学金を学生に与える基準はなんですか？

Shaw それは本当に複雑です。GPA、テストの点数（SAT）、親の所得、支払い能力などです。スミスは非常に学費が高く、近辺の他の大学とは異なり、ある意味本当に面白い場所です。（学資援助なく）全学費を支払う学生もいますが、一方ですごく貧しい学生もいます。

7. 貧困な状況にいる学生への支援

質問者 学費を全く支払っていない学生たちも受け入れるのですか？

Shaw とても貧しい学生もいますが、スミスでは受け入れています。すごいことです。

様々な面で異なる人たちがいて、そのチャレンジ（試練）についてお話すれば、そこで生じている葛藤・衝突が想像できるでしょう。週末になるとヨーロッパに飛ぶような学生もいれば、休暇中に帰省するお金がない学生もいるのです。

例えば、私が知っているアフガニスタン人の学生は行動委員会の委員長で、彼女はアメリカに来てから一度も国に帰ったことがありません。もし帰国すると、費用がかさむので二度とここに戻れなくなるからです。彼女は卒業することになっているのですが、家族は旅費が高すぎて彼女の卒業式に来られません。悲しいことに、彼女は職探しについてとても心配しています。留学生、特に世界の特定地域からの留学生を採用するアメリカの会社は少なくなっていますから。彼女はスミスで勉強を続けられるよう、毎晩のようにとても一生懸命に勉強していました。彼女は私にこのようなことを言いました。“まだ時間があるので、学校のプログラムに参加して、SMITH と書いてあるTシャツも着たい”と。彼女はスミスのグッズを持つのが大好きなのです。でも、（お金がないので）それさえも買えません。そこで私は、“卒業式に何をあなたにプレゼントするかを思いつきました。ブックストアに行って素敵なスウェットを買ってあげましょう”と言いました。彼女にはそれがふさわしいからです。この仕事

がとても満足のいくものであるのは、このような学生たちと一緒に仕事ができるからです。

もし学費を支払えないのなら、全面的な学資援助を得ることができます。全面援助に申し込み、その一部としてワークスタディ（work-study）²¹をすることになります。学生はキャンパスでの仕事を得て、生活費の援助となる幾ばくかのお金をもらいますが、彼女への請求書はゼロとなります。しかしながら、必ずしもその仕事が決まるだけの金額になるのかを考慮しているわけではありません。

質問者 彼女の SAT の点数はとても高かったので、スミスに受け入れられたのですね。

Shaw ご承知のように、スミスの多くの学生たちがそうであるように、彼女の成績はとても素晴らしかったです。

私はある新生がやってきたときのことをよく覚えています。彼女は黒人で、若い白人女性と年配の黒人女性と一緒にでした。私は、“ウォ、これはどういうことなのか”と思って、彼女らに話しかけたところ、白人女性は学生の高校のガイダンス・カウンセラーで、彼女はその学生が本当に賢いことを知っていました。年配の黒人女性は学生を育てた祖母でした。白人女性は、私に近づいてきて言いました。“彼女のことがとても心配です。彼女は一度も自分のベッドで寝たことがなく、これまでの人生でずっと祖母のアパートのソファで寝ていたのです。”

その学生はとても一生懸命勉強しました。本当に素晴らしかったです。卒業して、今はニューヨーク市で働いていますが、学生たちの経済的な格差は本当に興味深いところです。

質問者 そのような格差がここにあるとは想像もつきませんでした。奨学金やグラントやお金を借りる必要があったとしても、それでも平均的な学生や平均よりはかなり高いと思っていました。

Shaw いいえ、大きな幅があります。大学が全額を支払うこともあります。莫大な基金²²があるからです。そうした基金の多くは学資援助に回ります。

質問者 お忙しい中、長時間、丁寧にお答えいただきありがとうございました。

²¹ 勤労とや勉強を兼ねたもの。例えばアメリカの教育省が提供するプログラムでは、可能な時期に、学生の専門分野に関係ある内容を一般市民に教育したり、関連ある仕事をしたりする。
(<https://studentaid.ed.gov/sa/types/work-study>)

²² スミスの 2018 年度の基金（endowment）は、約 18 億 7500 万ドル（1,875,093 千ドル）、日本円にして 2062 億円（1 ドル = 110 円換算）となり、総合大学を含むアメリカとカナダの全大学の中で 57 位にランクされる。“U.S. and Canadian Institutions Listed by Fiscal Year (FY) 2018 Endowment Market Value and Change in Endowment Market Value from FY17 to FY18” (National Association of College and University Business Officers and TIAA 提供)

- ※1 本誌掲載インタビューの編集は安東が行った。基本的にはインタビューの全訳であるが、一部聞き取れていなかった内容もあり、それらは削除されている。またプライバシーに関する内容については削除する、あるいは名前を伏せるなどの措置をとった。前後のつながりが分かりにくい箇所については、話の順序を入れ替えた箇所も一部ある。
- ※2 脚注に記載してあるインターネットアドレスについては、全て2019年2月27日～28日時点において掲載されていることを確認した。

付記 本研究は、2015-2018年度・科学研究費助成事業（基盤研究C）「女子大学の存立意義とサバイバルストラテジー：日本・アメリカ・韓国の国際比較」（課題番号15K04327）による研究成果の一部である。（なお、本研究は、2019年度まで延長する予定である。）